

北九州市が目指す子どもの未来をひらく教育(全体像)

【目指す子ども像】 北九州っ子
 乗り越え、自立する力を持つ子ども 《自立》 思いやりの心がある子ども 《共生》

家庭

すべての教育の出発点。
 子どもが家族を求める気持ちを大切に、しっかり向き合い、しつけをする。

【連携】子どもを育てる共同体として、相互に理解し、受入れ、補い合う

学校

子どもが人と人のかかわりの中で学び、心身をはぐくむ場所。
 よりよい教育のために挑戦し、家庭や地域に開かれた運営を実現する。

地域

北九州市がもつ人の力、まちの力をあげて、地域の宝である子どもをはぐくむ。
 学校を支え、家庭が力いっぱい子育てができる社会をつくる

【行政】家庭、学校、地域それぞれがもつ力を発揮するための支援、連携の道筋をつける役割を果たす。

《取り組みを進めるにあたって (教育日本一の捉え方)》

子ども、保護者、教職員、地域住民・企業の満足度、実感を重視

子ども 学校が楽しい、北九州市で教育を受けてよかったと実感できる
 保護者 子どもたちの成長が目に見える
 教職員 子どもと向き合う時間が増える
 地域住民 子ども教育へのかかわりを通じて地域のつながりが強まる
 企業 優秀な人材が確保できる など

市民一人ひとりの子どもの教育に対する高い関心と自覚、主体的な参画を重視

単に数値による比較のみで捉えない

目に見える結果としては、学力検査等の指標、市民意識調査における市民評価の向上を目指す

視点	1. 確かな学力と体力	2. 子どもの特性を伸ばす	3. 学校の力をさらに高める	4. 学校や地域の教育活動を市民の力で支える	5. 心の育ちの推進 (青少年の健全育成を含む)	6. 特別支援教育の充実
目指すべき方向性・具体的取り組み	学校、家庭、地域が真に連携し、 基本的な生活習慣の定着 、子どもの発達段階に応じた学力・体力の育成に取り組む	子どもが高い目的意識をもち、 持てる可能性を發揮する仕組みをつくる	教員一人ひとりの能力、学校の組織力を高め、 学校が本来もつ力を發揮させる	北九州市がもつ人の力、まちの力をあげて 教育を充実させる	すべての人が、人を思いやる心を持ち、ルールやマナーを守ることを大切に する社会の実現	障害の有無にかかわらず、 すべての人が生き生きと活躍できる社会の実現
	基礎的な学力、体力の向上のための取り組みの推進、継続的な授業改善 各学校における「 学力向上プラン 」の推進 各学校における「 体力アッププラン 」の推進 言語力の向上 授業改善の推進 外遊びの奨励など様々な機会を通じた運動習慣の定着 基本的な生活習慣や家庭学習の定着など、家庭の教育力の向上 保護者の理解促進、支援(声が届かない保護者への一層の働きかけ) 早寝、早起き、朝ごはん運動の実践的展開 子育て支援の取り組みを通じた働きかけ 家庭、幼稚園・保育所と小学校の教育の連携 ワークライフバランスの推進 食育を通じた基本的な生活習慣の定着、健全な心身の育成 食育推進会議において具体的な内容を議論 病気を防ぐ習慣づくり	子どもが高い目的意識をもつ仕組みとして、特色ある学校づくりを推進 部活動の強化(指導者の配置等) 小中一貫的教育の検討 専科教育の充実 北九州の特性を活かした環境やものづくり、国際理解教育の推進 環境教育、ものづくり教育の推進 国際理解教育の推進 勤労観や職業観の育成、キャリア教育の充実 企業と連携したキャリア教育の充実	教職員が子どもと向き合う時間をさらに増やし、一人ひとりの教員が優れた能力を發揮できる体制を構築する 学校問題対応支援体制の充実 少人数学級など教育条件の整備 学校事務の見直し 優秀な教員を確保するための仕組みづくり 教員研修の充実 学校長を中心とした学校の経営力の強化、組織力の向上 校長の裁量権の拡大 子どもの活動意欲を高める拠点としての学校づくり 学校図書館の充実 安全で快適な学校環境の整備	学校の教育活動を積極的にオープンにし、 地域をまきこんだ学校運営を実現する 学校の積極的なオープン化(施設、情報) 既存の制度を積極的に活用し、できる地域からできるレベルの取り組みを推進する 学校評議員制度や社会教育主事など既存制度・人材の積極的活用 学校を拠点とした活動に幅広い市民の参加を促す仕組みづくりを進める スクールヘルパー制度の充実 学校地域支援本部など学校の応援団づくり 企業との連携の強化 地域と連携した読書活動の充実 地域との連携を軸とした 体験活動の推進 スポーツ、文化など本物の体験や大人との関係を通じた育ちを重視した取り組み 青少年施設等における自然体験活動の推進 子ども会をはじめとした青少年団体活動への支援(再掲)	家庭での教育、幼稚園、保育所、学校、地域での経験を通じて自尊心、他を思いやる心を醸成する仕組みの実現 体験活動を重視した道徳教育 ボランティア活動の推進 青少年施設等における自然体験活動の推進 就学前の家庭、幼稚園・保育所と小学校の教育の連携(再掲) 不登校・いじめにきめ細やかに対応する社会の実現 不登校・いじめに対応する体制の充実 スクールソーシャルワーカー等支援体制の充実 規範意識の醸成(問題行動を繰り返す児童・生徒に対する毅然とした指導とサポート) 学校問題対応支援体制の充実(再掲) 有害情報などにより、子どもたちを危険にさらさない、危険に直面したときに的確に対応できる子どもの育成、家庭の支援 出会い系サイトなどの有害情報の共有化 関係業界を含め、家庭、地域、学校などが一体となった取組み ノーメディアデー等の取り組みの検討 社会全体で子どもを見守る体制の構築 青少年育成会、地域会議への支援 子ども会をはじめとした青少年団体活動への支援	共生社会の形成に向け、障害のある子どもを包容するとともに、すべての子どもたちの健やかな成長に応える教育の実現 障害のある子どもを包容する教育(インクルーシブな教育)の推進に当たって、障害のある子どもの地域生活を支援していく関係機関との連携の充実 特別支援教育コーディネーター等の人材確保と専門性の向上 幼稚園、保育所など就学前からの情報の引き継ぎ 関係機関と連携した公立幼稚園における特別支援教育の充実 教職員、保護者、市民、関係機関への理解啓発の推進